

予算審査特別委員会記録

令和7年2月12日（水）午後2時59分開議

○審査日程

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 委員席の指定
- 4 分科会の設置
- 5 分科会委員の選任
- 6 分科会主査・副主査の互選
- 7 理事会の設置
- 8 総括説明

議案自第10号至第23号

財政局長

議案第24号

病院事業管理者

議案第25号、第26号

建設局長

議案第27号

水道局長

○出席委員

石川美香君	吉川英二君
茂呂一弘君	岳田雄亮君
須藤博文君	岡崎純子君
黒澤和泉君	野島友介君
山崎真彦君	大平真弘君
渡邊惟大君	桜井秀夫君
青山雅紀君	伊藤隆広君
前田健一郎君	石川弘君
小坂さとみ君	三井美和香君
渡辺忍君	安喰初美君
椀澤洋平君	守屋聡君
蛭田浩文君	伊藤康平君
阿部智君	松坂吉則君
植草毅君	岩井雅夫君
亀井琢磨君	田畑直子君
川合隆史君	麻生紀雄君
段木和彦君	佐々木友樹君
盛田眞弓君	櫻井崇君
森山和博君	酒井伸二君

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

小松崎 文 嘉 君	向 後 保 雄 君
宇留間 又衛門 君	中 島 賢 治 君
三 須 和 夫 君	石 井 茂 隆 君
米 持 克 彦 君	石 橋 毅 君
白 鳥 誠 君	三 瓶 輝 枝 君
中 村 公 江 君	野 本 信 正 君

○説明員

市 長 神 谷 俊 一 君	副 市 長 大 木 正 人 君
副 市 長 橋 本 直 明 君	病院事業管理者 山 本 恭 平 君
総合政策局長 峯 村 政 道 君	総 務 局 長 大 野 和 広 君
財 政 局 長 山 元 隆 司 君	市 民 局 長 那 須 一 恵 君
保健福祉局長 今 泉 雅 子 君	こども未来局長 大 町 克 己 君
環 境 局 長 宮 本 寿 正 君	経 済 農 政 局 長 藤 代 真 史 君
都 市 局 長 鹿 子 木 靖 君	建 設 局 長 山 口 浩 正 君
消 防 局 長 白 井 一 広 君	水 道 局 長 勝 瀬 光 一 郎 君
会 計 管 理 者 折 原 亮 君	病 院 局 次 長 橋 本 欣 哉 君
市 長 公 室 長 西 公 厚 君	総 務 部 長 中 尾 嘉 之 君
財 政 部 長 大 畑 晃 君	教 育 長 鶴 岡 克 彦 君
教 育 次 長 秋 幡 浩 明 君	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長 清 水 公 嘉 君
人 事 委 員 会 事 務 局 長 桑 本 茂 樹 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長 渡 部 義 憲 君
代 表 監 査 委 員 穴 倉 輝 雄 君	

○議会事務局

事 務 局 長 久 我 千 晶 君	次 長 寺 崎 勝 宣 君
議 事 課 長 安 西 雅 樹 君	議 事 課 長 補 佐 木 下 哲 央 君
議 事 班 主 査 石 黒 薫 子 君	

○議長（石川 弘君） ただいまから、予算審査特別委員会を開催していただくわけですが、本日は最初の委員会でございますので、正副委員長の互選等をお願いいたします。

私より、年長委員であります石橋毅議員を御紹介申し上げます。

それでは、石橋毅議員、よろしく願いいたします。

〔議長退席、年長委員着席〕

午後 2 時 59 分開議

○年長委員（石橋 毅君） ただいまから予算審査特別委員会を開きます。

私が年長委員ということですので、委員長が互選されるまで委員長の職務を務めさせていただきます。

出席委員は50名、委員会は成立いたしております。

委員長の互選

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長の互選につきましては、指名推薦の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないものと認め、委員長には向後保雄委員を指名したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないものと認め、向後保雄委員が委員長に当選されました。

それでは、委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔委員長 向後保雄君 登壇、拍手〕

○委員長（向後保雄君） ただいま、皆様の御推挙によりまして、予算審査特別委員長としての拝命を受けました、自由民主党千葉市議会議員団の向後保雄でございます。待ちに待っておりました。

令和7年度一般会計予算は、新しい新清掃工場や新病院等の建設がピークを迎える、それに加えて物価高騰によって、まあ、一般会計も5,512億円という、2期連続で過去最大となった訳ではありますが、まあまた令和じゃなくて2026年来年ですね、千葉開府900年を迎えるその前の年ということで、その準備も予算の中に入っている、そういった予算であります。

議員の皆さま全てがしっかりと予算審査をして、まあ、私の至らないところは皆さんで御協力いただきながら、委員長の職を務めてまいる所存でございます。どうぞ、皆様の御協力お願いを申し上げます。

以上で、簡単ではございますけども、就任にあたっての御挨拶とさせていただきます。

よろしく願い申し上げます。ありがとうございました。（拍手）

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長席を交代いたします。皆様方の御協力に感謝申し上げます。（拍手）

〔年長委員退席、委員長着席〕

副委員長の互選

○委員長（向後保雄君） それでは、引き続き、副委員長の互選につきましては、指名推薦の方法によることとし、私から指名をいたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） 御異議ないものと認め、副委員長には佐々木友樹委員を指名したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） よろしいですか。はい。御異議ないものと認め、佐々木友樹委員が副委員長に当選をされました。

それでは、副委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔副委員長 佐々木友樹君 登壇、拍手〕

○副委員長（佐々木友樹君） ただいま議員皆様の御同意をいただきまして、予算審査特別委員会副委員長に就任いたしました、日本共産党千葉市議会議員団の佐々木友樹です。

物価高騰が続く中、令和7年度予算、新年度予算案が、地方自治法の本旨であります住民福

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

祉の増進につながるものであるのかが問われていると考えます。そのため、慎重な審査を行うことが求められております。向後委員長と協力をいたしまして、全力を挙げて予算審査の運営に取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いをいたします。（拍手）

委員席の指定

○委員長（向後保雄君） はい、次に、委員席につきましては、ただいまお座りの席を指定いたします。

分科会の設置

○委員長（向後保雄君） 次に、議案第10号から第27号までの18議案の審査のため、常任委員会単位の5つの分科会を設置することとし、各常任委員会の委員定数をもって構成いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

分科会委員の選任

○委員長（向後保雄君） 次に、分科会委員の選任につきましては、お手元に配付の委員表のとおり指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

委員表を添付

分科会主査・副主査の互選

○委員長（向後保雄君） 次に、各分科会の正副主査につきましては、各常任委員会の正副委員長を充てることといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

理事会の設置

○委員長（向後保雄君） 次に、予算審査特別委員会に理事会を設置し、理事会は議会運営委員会理事会の構成をもって充てることといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（向後保雄君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

審査の都合により、暫時休憩いたします。

午後3時7分休憩

午後3時45分開議

総括説明

○委員長（向後保雄君） 休憩前に引き続き、委員会を開きます。

まず、令和7年度一般会計予算及び各特別会計予算の総括説明をお願いいたします。財政局長。

○財政局長（山元隆司君） 令和7年度当初予算案の総括説明を申し上げます。

私からは、一般会計並びに企業会計を除く13の特別会計について御説明を申し上げ、引き続き、各企業会計につきましては、所管局より御説明を申し上げます。

それでは、令和7年度当初予算（案）のあらましの表紙をおめくりいただきまして、目次を御覧ください。

本日は、ローマ数字のⅠ、令和7年度当初予算（案）の概要を中心に御説明いたしますが、このうち、1の編成の背景及び2の編成の基本的考え方につきましては、市長の提案理由の中で御説明申し上げておりますので省略させていただき、3の予算規模から御説明を申し上げます。

それでは、当初予算（案）のあらましの6ページをお願いいたします。

初めに、3の予算規模でございます。

中段の表1は、会計区分ごとの当初予算額を前年度と比較したもので、一般会計の規模は、5,512億円で、前年度に比べ、418億円、8.2%の増となっております。

企業会計を含む特別会計17会計の規模は、4,597億500万円で、前年度に比べ、159億5,000万円、3.6%の増となっております。これは、病院事業会計や介護保険事業特別会計などが増額となることによるものでございます。

全会計を合わせました規模は、1兆109億500万円で、前年度に比べ、577億5,000万円、6.1%の増となっております。

7ページをお願いいたします。

4の一般会計予算の内容でございます。

まず、歳入ですが、表2の歳入予算の款別の主な内訳と、表の下の増減説明を併せて御覧いただきたいと存じます。

市税は、2,212億円、構成比は40.1%、前年度に比べ、158億円、7.7%の増となっております。これは、給与所得の増加などにより、個人市民税が増額となることなどによるものでございます。

国庫支出金は、1,202億7,600万円、構成比は21.8%、前年度に比べ、182億600万円、17.8%の増となっております。これは事業の進捗に伴い清掃工場等整備事業費収入が増額となるほか、所得制限撤廃などの制度拡充の通年化に伴い児童手当収入が増額となることなどによるものでございます。

次のページをお願いいたします。

市債は、592億9,900万円、構成比は10.8%、前年度に比べ、48億1,500万円、8.8%の増となっております。これは、臨時財政対策債が皆減となるものの、事業の進捗に伴い清掃施設整備債が増額となることなどによるものでございます。

県支出金は、293億1,200万円、構成比は5.3%、前年度に比べ、34億900万円、13.2%の増と

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

なっております。これは、民間保育園等運営収入や障害者介護給付費等収入が増額となることなどによるものでございます。

地方交付税は、286億円で、このうち普通交付税が275億円、特別交付税が11億円となり、構成比は5.2%、前年度に比べ、36億円、14.4%の増となっております。これは、交付税総額の増などにより、普通交付税が増額となることなどによるものでございます。

地方消費税交付金は、266億9,800万円、構成比は4.9%、前年度に比べ、20億1,800万円、8.2%の増となっております。これは、消費の増加が見込まれていることなどにより、増額となるものでございます。

諸収入は、232億7,000万円、構成比は4.2%、前年度に比べ、23億3,100万円、11.1%の増となっております。これは、ちば消防共同指令センター指令システム更新に伴い共同運用指令センター整備事業収入が増額となることなどによるものでございます。

以下、主な歳入は記載のとおりでございます。

おめくりいただきまして、10ページをお願いいたします。

次に、歳出ですが、表3の歳出予算の款別の主な内訳と、表の下の増減説明を併せて御覧いただきたいと存じます。

民生費は、2,143億2,100万円、構成比は38.9%、前年度に比べ、181億2,400万円、9.2%の増となっております。これは、制度拡充の通年化に伴い児童手当支給事業費が増額となるほか、利用児童数の増に伴い民間保育園等運営事業費が増額となることなどによるものでございます。

教育費は、797億3,300万円、構成比は14.5%、前年度に比べ、22億2,500万円、2.9%の増となっております。これは、若葉住宅地区の小学校新設に係る経費が増額となることなどによるものでございます。

衛生費は、731億1,000万円、構成比は13.3%、前年度に比べ、176億6,200万円、31.9%の増となっております。これは、新清掃工場整備事業費が増額となることなどによるものでございます。

次の11ページをお願いいたします。

土木費は、581億4,100万円、構成比は10.5%、前年度に比べ、11億4,500万円、1.9%の減となっております。これは、中央公園・通町公園整備や海浜幕張駅蘇我方面改札口新設に係る経費が減額となることなどによるものでございます。

公債費は、526億3,400万円、構成比は9.5%、前年度に比べ、2億7,500万円、0.5%の減となっております。これは、償還元金が減額となることなどによるものでございます。

総務費は、400億6,500万円、構成比は7.3%、前年度に比べ、51億9,800万円、14.9%の増となっております。これは、住民情報系システムの標準化に係る経費が増額となることなどによるものでございます。

以下、主な歳出は記載のとおりでございます。

次の、12ページをお願いいたします。

5の一般会計予算の財政構造でございます。

まず、歳入ですが、自主財源と依存財源の状況は、表4のとおりでございます。自主財源の構成比であります自主財源比率は49.1%と、前年度に比べ1.1ポイント低下しております。これは、自主財源で、繰入金が減額となるものの、市税の増額などにより、前年度に比べ、151億5,400万円、5.9%の増となる一方、依存財源では、国庫支出金や市債の増額などにより、

前年度に比べ、自主財源を上回る266億4,600万円、10.5%の増となることなどによるものでございます。

次に、13ページの歳出ですが、義務的経費と投資的経費の状況は、表5のとおりでございます。

義務的経費は、3,023億4,100万円、構成比は54.9%、前年度に比べ、159億900万円、5.6%の増となっております。これは、児童手当支給事業費や民間保育園等運営事業費の増に伴い扶助費が増額となることなどによるものでございます。

投資的経費は、830億7,700万円、構成比は15.1%、前年度に比べ、175億4,200万円、26.8%の増となっております。これは、補助事業費において新清掃工場整備や若葉住宅地区の小学校新設に係る経費が増額となることなどによるものでございます。

その他の経費は、1,657億8,200万円、構成比は30.0%、前年度に比べ、83億4,900万円、5.3%の増となっております。これは、住民情報系システムの標準化に係る経費が増額となることなどによるものでございます。

一般会計の状況は以上となります。

次に、14ページをお願いいたします。

6の特別会計予算の状況でございます。

企業会計を除く13の特別会計の状況は、表6のとおりとなります。

主な会計につきまして御説明を申し上げます。

国民健康保険事業特別会計は、785億1,400万円で、前年度に比べ、25億3,800万円、3.1%の減となっております。これは、被保険者数の減に伴い、保険給付費が減額となることなどによるものでございます。

15ページをお願いいたします。

介護保険事業特別会計は、882億8,900万円で、前年度に比べ、36億4,100万円、4.3%の増となっております。これは、要介護認定者数の増に伴い、保険給付費が増額となることなどによるものでございます。

後期高齢者医療事業特別会計は、159億9,600万円で、前年度に比べ、5億4,800万円、3.6%の増となっております。これは、被保険者数の増に伴い、広域連合納付金が増額となることなどによるものでございます。

競輪事業特別会計は、62億2,400万円で、前年度に比べ、11億8,300万円、23.4%の増となっております。これは、勝者投票券売上金の増に伴い、払戻金などの開催経費が増額となることなどによるものでございます。

公債管理特別会計は、1,416億300万円で、前年度に比べ、25億3,500万円、1.8%の増となっております。これは、償還利子が増額となることなどによるものでございます。

最後に、地方債の状況について申し上げます。

恐縮ですが、140ページをお願いいたします。

6の会計別地方債総括表は、会計ごとの地方債の発行額や現在高の状況を一覧にまとめたものでございます。

まず、左ページの発行額の状況ですが、令和7年度当初予算の発行額は、全会計合計で、一番下の段、1,293億2,000万円で、前年度に比べ、175億7,000万円の増となっております。

次に、右ページの現在高の状況でございます。

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

表の一番右の列、令和7年度末現在高見込額は、全会計合計で、9,922億4,800万円となります。

以上が地方債の状況でございますが、今後とも財政健全化指標等の推移を見極めつつ、中期財政運営方針を踏まえ、計画的な市債活用に努めてまいります。

私からの説明は、以上でございます。

○委員長（向後保雄君） 次に、令和7年度病院事業会計予算の総括説明をお願いいたします。病院事業管理者。

○病院事業管理者（山本恭平君） 令和7年度病院事業会計当初予算（案）について、御説明申し上げます。

当初予算（案）のあらましの16ページをお願いいたします。

初めに、病院事業会計予算の状況ですが、表7の1を御覧ください。

表の一番下、令和7年度の支出合計は545億200万円で、前年度に比べ36.0%の増となっております。

次に、基本的な考え方ですが、地域の中核的な病院として、少子・超高齢社会における医療需要の増大や多様化への対応を図りつつ、青葉病院における救急医療や精神疾患への対応、海浜病院における小児・周産期医療などの政策的医療に引き続き積極的に取組、市民が必要とする安全・安心で高度な医療を一人でも多くの市民に提供してまいります。

また、令和5年度決算において4年ぶりに純損失を計上するなど、厳しい経営状況が続いていることから、地域医療連携の強化などにより収益の増加を図るとともに、業務の見直しなどにより経費、材料費等の費用の削減を行うなど、経営改善に引き続き取り組んでまいります。

さらに、海浜病院の老朽化に対応するため、引き続き（仮称）幕張海浜病院の建設工事等を進めてまいります。

次に、業務の予定量ですが、数値は両市立病院の合計となっております。

令和7年度の職員数は1,250人、病床数は662床の体制となります。

入院部門、外来部門をあわせた年間患者数は、51万608人、1日平均1,836人を予定しております。

また、主要な建設改良事業としましては、（仮称）幕張海浜病院建設工事の病院建設事業で231億3,100万円、青葉病院の空調熱源更新の病院整備事業で2億5,300万円、海浜病院の病院情報システムなどのリース資産購入費で3億4,400万円、医療機器等購入で2億9,800万円であります。

次に、収益的収入及び支出ですが、これは、日々の病院運営に関連する収入及び支出であります。

収益的収入は、入院・外来収益などの医業収益が199億3,300万円、他会計負担金などの医業外収益等が57億7,900万円、合計257億1,200万円で、増減率は6.6%の増となっております。

収益的支出は、給与費、材料費、経費などの医業費用が268億8,500万円、企業債利息などの医業外費用等が4億4,200万円、合計273億2,700万円で、増減率は4.4%の増となっております。

最後に、資本的収入及び支出ですが、これは主に施設整備に関連する収入及び支出であります。

資本的収入は、建設改良事業に充当する企業債が223億円、過去に借入れた企業債の元金償還金などの財源となる一般会計負担金等が19億9,800万円、県補助金が14億6,900万円、諸収入

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

が4,200万円、合計258億900万円で、増減率は105.6%の増となっております。

また、資本的支出は、病院建設費及び病院整備費として241億1,900万円、医療機器等購入費が2億9,800万円、リース資産購入費が3億4,400万円、企業債償還金が24億1,400万円、合計271億7,500万円で、増減率は95.4%の増となっております。

以上でございます。

○委員長（向後保雄君） 次に、令和7年度下水道事業会計予算及び農業集落排水事業会計予算の総括説明をお願いいたします。建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 令和7年度下水道事業会計当初予算案について、御説明いたします。

令和7年度当初予算（案）のあらましの18ページをお願いいたします。

下水道事業会計予算の状況ですが、表7の2を御覧ください。

表の一番下の令和7年度の支出合計は547億8,500万円で、前年度に比べ、26億2,900万円、4.6%の減となっております。

次に、基本的な考え方でございますが、引き続き、中長期経営計画に基づき、安全・安心で快適な生活を支える下水道を目指し、雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた、浸水リスクの高い重点地区、その他の一般地区において、雨水管渠や貯留槽などの、雨水施設の整備を進めるほか、市民による防水板設置費用の一部を助成してまいります。

また、大規模地震発生時に下水道機能を確保するため、下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線等の耐震化を行うとともに、液状化地区におけるマンホール浮上防止対策を進めてまいります。

さらに、下水道の適正な機能を維持するため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場設備の点検、補修を適正に行い、必要に応じて改築を進めるほか、将来人口減少に伴う汚水量を考慮し、老朽化した下水道施設の統廃合を進めてまいります。

管路については、道路陥没などの未然防止のため、カメラ調査などによる点検を行い、補修や改築を進めてまいります。

加えて、快適な暮らしの基盤づくりに向け、汚水管路の整備を進め、未普及地域の解消に努めてまいります。

このほか、健全な経営に基づいた持続可能な下水道として、両浄化センター及び一部の地域における管路において、引き続き包括的民間委託による維持管理を行い、官民連携の推進を図るなど、良質な下水道サービスを維持するため、さらなる経営基盤の強化に努めてまいります。

次に、業務の予定量でございますが、汚水処理世帯数46万8,757世帯、総処理水量は、1億1,619万499立方メートルを予定しており、この結果、1日の平均処理水量は31万8,330立方メートルとなります。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費43億1,500万円、ポンプ場整備事業費7億2,600万円、処理場整備事業費22億6,000万円となっております。

次に、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入につきましては、下水道使用料などの営業収益233億6,700万円、他会計補助金などの営業外収益等80億5,400万円、合計314億2,100万円で、増減率は1.1%の増となっております。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用272億7,600万円、企業債利息などの営業外費用等32億3,800万円、合計305億1,400万円で、増減率は3.3%の増とな

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

っております。

次に、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入につきましては、企業債103億3,200万円、国庫補助金20億5,500万円、他会計負担金等16億9,300万円、合計140億8,000万円で、増減率は、19.5%の増となっております。

資本的支出については、建設改良費82億7,200万円、施設利用負担金などの固定資産購入費6億4,600万円、企業債償還金等153億5,300万円、合計242億7,100万円で、増減率は12.9%の減となっております。

続きまして、令和7年度農業集落排水事業会計当初予算案について、御説明いたします。

20ページをお願いいたします。

農業集落排水事業会計予算の状況ですが、表7の3を御覧ください。

表の一番下の令和7年度の支出合計は、10億6,600万円で、前年度に比べ、2億9,300万円、21.5%の減となっております。

次に、基本的な考え方でございますが、引き続き、中長期経営計画に基づき、農業集落排水施設の保守、点検及び修繕により適切な汚水処理を行うとともに、施設の再編を進め、効率的な事業運営を図り、経営基盤の強化に努めてまいります。

次に、業務の予定量でございますが、汚水処理世帯数1,841世帯、総処理水量は、55万8,163立方メートルを予定しており、この結果、1日平均処理水量は1,529立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業については、農業集落排水施設再編工事などの農業集落排水施設整備費2億5,900万円となっております。

次に、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入については、農業集落排水使用料などの営業収益9,000万円、他会計補助金などの営業外収益4億5,800万円、合計5億4,800万円で、増減率は15.3%の減となっております。

収益的支出については、農業集落排水施設費、減価償却費などの営業費用4億9,700万円、企業債利息などの営業外費用等5,900万円、合計5億5,600万円で、増減額は13.6%の減となっております。

次に、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入につきましては、企業債1億7,500万円、国・県補助金5,600万円、一般会計補助金等2億8,800万円、合計5億1,900万円で、増減率は27.2%の減となっております。

資本的支出につきましては、建設改良費2億5,900万円、企業債償還金等2億5,100万円、合計5億1,000万円で、増減率は28.7%の減となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長（向後保雄君） 最後に、令和7年度水道事業会計予算の総括説明をお願いいたします。水道局長。

○水道局長（勝瀬光一郎君） 令和7年度水道事業会計の当初予算案につきまして、御説明申し上げます。

当初予算（案）のあらましの22ページをお願いいたします。

初めに、水道事業会計予算の状況でございますが、表7の4を御覧ください。

表の一番下の欄、支出合計は38億2,700万円で、前年度に比べ5,800万円、1.5%の減となっております。

これは、収益的支出における退職給付費の減などによるものでございます。

次に、基本的な考え方ですが、中長期経営計画に基づき、強靱な水道、水道サービスの持続、安全な水道という3つの基本方針を踏まえて事業を進めてまいります。

令和7年度は、安定給水を目的として実施した配水管布設工事後の舗装などを整備するほか、配水管や浄水場設備の耐震化、更新を行ってまいります。

なお、水道事業の運営については、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めてまいります。

次に、業務の予定量ですが、本年度は給水戸数2万868戸、前年度に比べ234戸の増となり、年間総給水量は474万8,650立方メートルを予定しております。

この結果、1日平均給水量は1万3,010立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業といたしまして、拡張事業費2億330万円、改良事業費3億4,300万円となっております。

次に、収益的収入及び支出ですが、収益的収入については、水道使用料などの営業収益11億700万円、他会計補助金などの営業外収益等10億7,800万円、合計21億8,500万円で、増減率は1.8%の減となっております。

収益的支出については、県からの受水費、職員給与費、減価償却費などの営業費用20億700万円、企業債利息などの営業外費用等1億1,600万円、合計21億2,300万円で、増減率は1.7%の減となっております。

最後に、資本的収入及び支出ですが、資本的収入については、拡張費及び改良費に充当する企業債3億4,800万円、出資金並びに負担金など8億4,600万円、合計11億9,400万円で、増減率は1.7%の減となっております。

資本的支出については、拡張費や改良費などの建設改良費7億3,400万円、企業債償還金など9億7,000万円、合計17億400万円で、増減率は1.2%の減となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長（向後保雄君） お聞きの通りでございます。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

次会は、25日、本会議散会後に委員会を開きます。

本日は、これをもって散会といたします。御苦勞様でした。

午後4時14分散会

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和7年予算審査特別委員会記録（2月12日）

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

予算審査特別委員長 向 後 保 雄